MITSUBISHI ELECTRIC

別売部品

三菱電機 ビル用 エアコン 集中ドレンパン

PAC-KS93DP, KS95DP, KS96DP
取付説明書

WT06320X02

安全のために必ず守ること

- この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、据付けてください。
- ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

⚠ 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度
⚠ 注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または、物的損害の発生が想定される危害、損害の程度

- 図記号の意味は次のとおりです。

（一般禁止）　（一般注意）　（一般指示）

- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、この本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

一般事項

⚠ 警告

特殊環境では、使用しないこと。

- 油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用した場合、著しい性能低下・腐食による感電・故障・発煙・火災のおそれあり。

使用禁止

据付・点検・修理をする場合、周囲の安全を確認すること。（子どもを近づけないこと）

- 工具などが落下した場合、けがのおそれあり。

指示を実行

⚠ 注意

保護具を身につけて作業すること。

- 保護具を付けないとけがのおそれあり。

指示を実行

運搬・据付工事をするときに

⚠ 注意

梱包に使用している PP バンドを持って運搬しないこと。

- けがのおそれあり。

運搬禁止

20kg 以上の製品の運搬は、1 人でしないこと。

- けがのおそれあり。

運搬禁止

運搬作業時製品を落下させないこと

- 不備がある場合、破損しけがのおそれあり。

けが注意

据付工事をするときに

⚠警告

梱包材を処理すること。

- 梱包材で遊んだ場合、窒息事故のおそれあり。
- 破棄すること。

強風・地震に備え、所定の据付工事を行うこと。

- 不備がある場合、ユニットが転倒・落下し、けがのおそれあり。

ユニットの質量に耐えられるところに据付けること。

- 強度不足や取付けに不備がある場合、ユニットが転倒・落下し、けがのおそれあり。

基礎や据付台などが傷んでいないか定期的に点検すること。

- 傷んだ状態で放置した場合、ユニットが転倒・落下し、けがのおそれあり。

⚠注意

濡れて困るものの上に据付けないこと。

- ユニットからドレンが出るため、必要に応じ集中排水工事をすること。

ユニットは水準器などを使用して、水平に据付けること。

- 据付けたユニットに傾斜がある場合、ドレン漏れのおそれあり。

配管工事をするときに

⚠注意

ドレン水が排水できることを確認すること。

- 不備がある場合、水漏れにより家財が濡れるおそれあり。

移設・修理をするときに

⚠警告

移設・修理をする場合、販売店または専門業者に依頼すること。分解・改造はしないこと。

- 不備がある場合、冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。

⚠注意

販売店または専門業者が取付説明書に従って取付けを行うこと。

- 不備がある場合、冷媒漏れ・水漏れ・感電・火災のおそれあり。

お願い

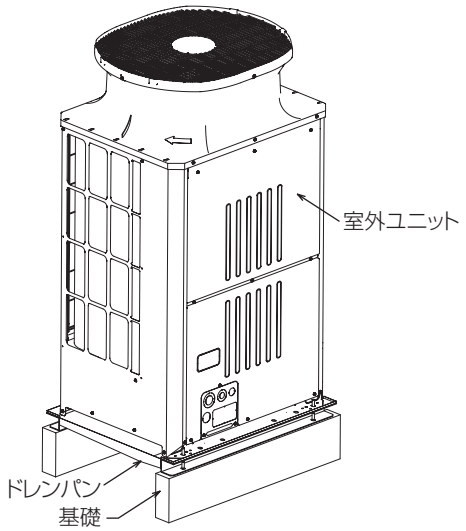
周囲温度が 0 ℃以下になるところでは使用しないでください。

- ドレンパン・ドレン配管凍結によりユニットが損傷するおそれあり。
- 使用する場合、ドレンパン上に凍結防止ヒーターなどを取り付けること

- **一般的な室外ユニット据付けに関する内容は、室外ユニット本体に添付の据付説明書に従ってください。**
- **下向き以外の方向で冷媒配管を接続してください。冷媒配管の下向き接続ができなくなります。**
- **ユニット全高が 62mm 高くなりますので、考慮の上、施工準備してください。**

1. ドレンパンの設置

本品は、基礎と室外ユニット本体の間に設置して使用します。
現地側で手配する基礎は以下の注意事項を守ってください。



(1) 基礎は、室外ユニット本体、およびドレンパンの重量に十分耐えられる構造、強度とし、地震や突風などで倒れたり落下しないよう強固に据付けてください。

(2) 集中ドレンパンを屋内または集中ドレンパンからの結露水の滴下が問題になる場所に設置する場合、低温のドレン水により集中ドレンパンが結露する可能性があるので、集中ドレンパン底面に断熱材を貼り付けて結露水の滴下を防いでください。
また次のような場合にはドレンパン外に水が飛散する可能性があります。
・集中ドレンパンにドレン水が溜まり、水はねが起こる場合。
・強風などでドレン水が吹き上げられる場合。

(3) 基礎とドレンパン、ドレンパンと室外ユニットをそれぞれ強固に締結してください。[図 1]
〈PAC-KS95,96DP の場合 4 カ所〉
〈PAC-KS93DP の場合 6 カ所〉
基礎ボルトの長さは 30 mmとしてください。
防振ゴムは基礎とドレンパンの間に取付可能ですが､基礎ボルトを防振ゴムの高さ分長くする必要があります。[図 2]

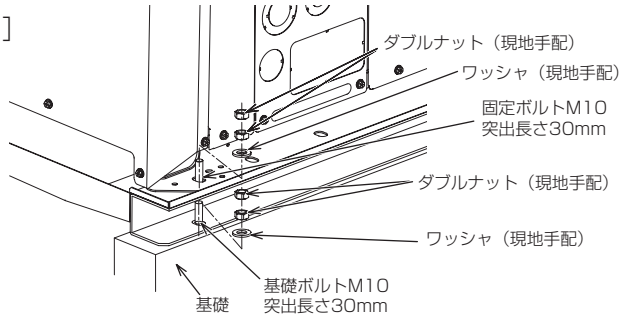
(4) 基礎の地上高さは、200mm 以上としてください。[図 3] これ以下ではドレン排水用ソケットの突出長さが 50mm ですのでドレン配管施工ができなくなります。[図 3]

(5) 基礎の高さが低くドレンパン設置後のドレン配管接続が困難な場合は、ドレン配管をドレンパンに取付け後、ドレンパンの設置を行ってください。

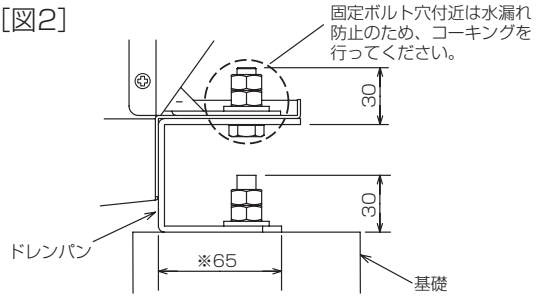
(6) ユニットの幅方向に基礎を設置する場合は、[図 5, 図 6] の※寸法部を確実に支持出来るように施工してください。

(7) ドレンパン基礎ボルト穴からの水漏れを防ぐため、適宜コーキングなどを実施してください。

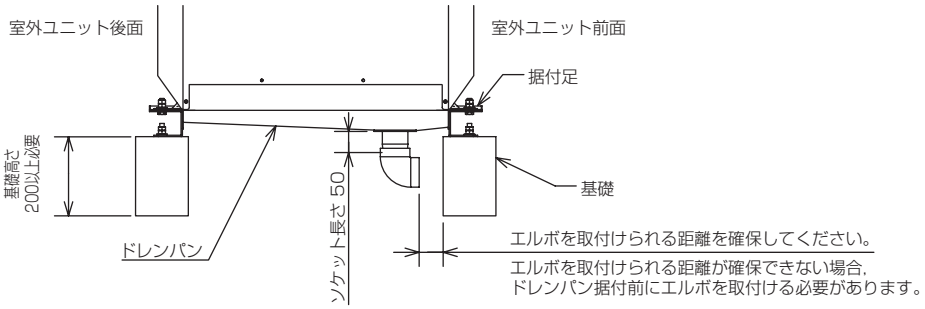
[図1]



[図2]

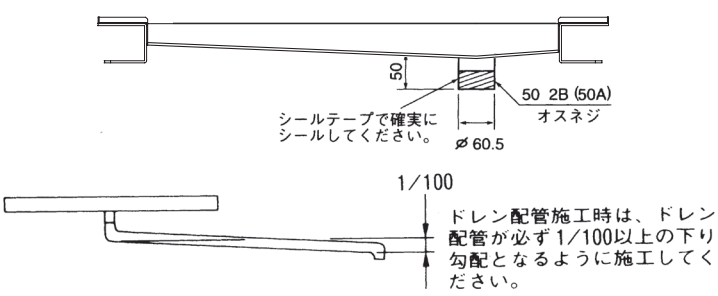


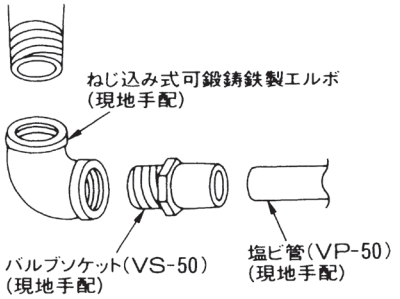
[図3]



2. ドレン配管工事

ドレンパンのドレンソケットは、2B（50A）オスネジとなっています。配管が鉄管の場合は 2B メスネジ加工で接続してください。
塩ビ管（VP50）を使用する場合は、塩ビ管用バルブソケットにて接続が可能です。いずれの場合でも、ソケットのネジ部はシールテープ等で確実にシールを施してください。

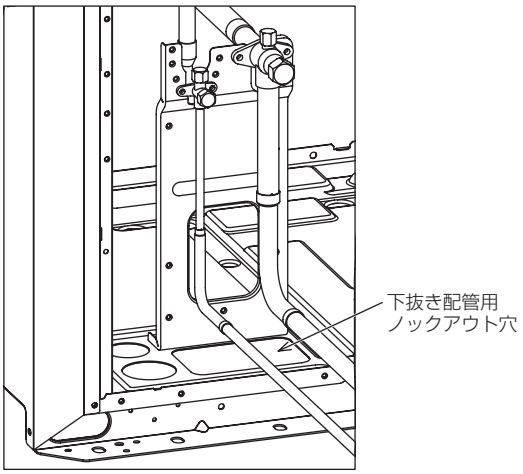




3. ドレン口の清掃

（1）前面パネルを外してください。
（2）下抜き配管用ノックアウト穴を外してください。[図 4]
（3）ノックアウト穴から見えるドレン口を清掃してください。[図 5, 図 6]
（4）開口したノックアウト穴端面を防錆処理してください。
（5）開口したノックアウト穴を閉鎖材（現地手配）で塞いでください。

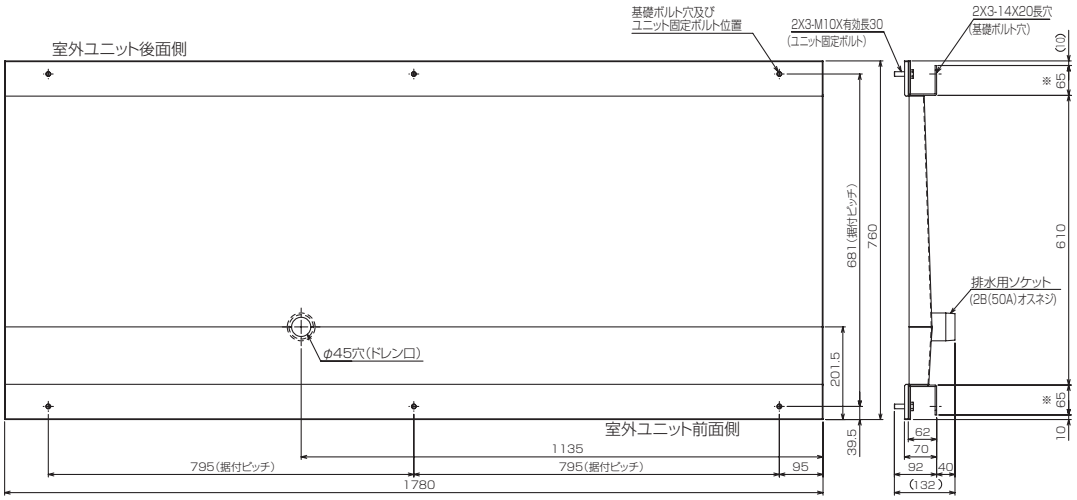
[図4]



4. 製品外形図

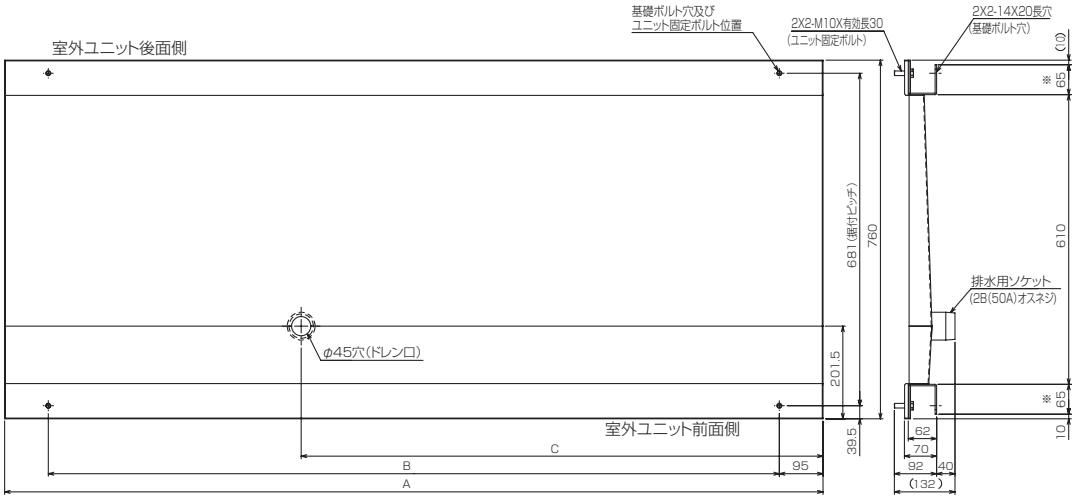
<PAC-KS93DPの場合>

[図5]



<PAC-KS95DP, KS96DPの場合>

[図6]



■変化寸法表

	A	B	C
PAC-KS95DP	950	760	638
PAC-KS96DP	1250	1060	888

三菱電機株式会社